

# 在宅看護論実習

単  
位  
数

2

時  
間  
数

90

3年次 5月～9月 開講

目的

地域で生活している人々及び療養している人と家族への看護を学ぶ。

## 【介護老人保健施設実習】

目標

1. 施設で生活している対象を理解する。
2. 施設で生活している対象の自立に向けた援助を理解する。
3. 施設における保健・医療・福祉のチームメンバーの役割と連携の必要性を理解する。
4. 高齢者在宅サービスの目的と事業の実際を理解する。

## 【訪問看護ステーション実習】

目標

1. 在宅で療養している人とその家族・介護者を理解する。
2. 在宅で療養している人とその家族・介護者が療養生活を継続するための援助に参加できる。
3. 訪問対象の社会資源の活用状況や関係諸機関との連携について理解する。

## 【外来看護実習】

目標

1. 外来通院をしながら生活している対象の背景を知る。
2. 外来部門における継続看護の実際を知る。
3. 外来看護における看護師の役割を知る。

## 【地域包括支援実習】

目標

1. 地域包括支援センターの介護予防事業、総合相談、支援事業等の概要を知る。
2. 地域包括支援ケアシステムと医療機関、および職種間の連携について知る。

\*実習内容・実習方法・実習評価の詳細は実習ハンドブック参照

学習上の留意点

この科目の受講にあたっては、以下の科目履修が要件となる。  
基礎看護学実習2、臨床看護総論、在宅看護概論、訪問看護の実際、  
在宅療養を必要とする対象の看護、在宅看護技術演習